

■あなたの考える「フランス語らしさ」についてできるだけ詳しく教えてください。

○フランス語らしさは、美しい発音、繊細なアクセント、豊かな語彙、文学的な表現、エレガントな文法、そしてフランス文化への深い尊敬から生まれます。これらの要素が、フランス語を独自で魅力的な言語にしていると考えます。

○とにかくおしゃれでかっこいいイメージを持っています。それというのもファッションが関係しているのではないかと考えており、フランス発祥のブランドはとて多く、ルイヴィトンやシャネルなど世界的に有名なブランドの相乗効果でフランス語はかっこいい、クールだとイメージが強いのかも知れません。

○英語や日本語のように語尾を弱めたり濁したりせず、最後まではっきり発音されている。ただ r や y が日本語では話すことも聞くこともなかなか無い発音なので、話す方も聞く方も感覚を掴みにくい。この2つがフランス語らしさだと思う。

○芸術文化が栄えているのを象徴しているかのような、流れるような発音だったり、形容詞の位置だったり名詞の位置によってなにを強く言いたいのかを表していることで伝えたいことを端的に述べようとする人間性があるところ。

○フランス語という言語は、流れるように発音し、(他の言語より) 少ない単語数でどのように喋るのかという知的な言語であると思っています。個人的には貴族や高貴な人が使うイメージがあるので、是非ともマスターして流暢な喋りができるようになりたい。

○言葉の美しさもあるけど、リエゾンやアンシェヌマンによって。フランス語を聞いた時に、単語で考えにくい所がフランス語らしいと思います。英語よりも、単語同士がつながりやすく、流れるように読みにくいところがフランス語らしさだと思います。

○r の発音が独特で流れるように発音すると美しく聞こえるため、英語読みしないで発音のルールに従って読むことが大事。また、フランス語は綴りによって発音が決まっているため1度発音を覚えてしまえば読めるようになる。

○私がフランス語らしさとは、日本語とは違う発音の総数であったり、日本語には無い日本人が出しにくい音や日本とはちがう文法の並びであったり、日本語には無いアクセント記号などにより表現方法が違うということです。

○長い歴史を持って生まれた言語であるため、決まりがしっかりとしている点

○私はフランス語は、おしゃれでその国の特徴を捉えているという印象がある。英語ではほとんどアルファベット通りで発音するが、フランス語では読む音、読まない音があったり、省略したりするところがフランス語っぽいと感じる。

○フランス語は、既存の物を多く使ったり、国としての考え方も出ている点。英語では、あまりきかない発音があること。文法の間違いに、他の言語よりも敏感かなと感じたこと。発音が単純に好きであること。

○わたしの中では、フランス語とは難しいものという印象でした。r の発音が英語とは違っていたり、リエゾンやアンシェヌマンなど、発音するにあたって気をつけることが沢山あって大変でした。文の構成も一部英語とは異なっており、フランスの特徴が表面化されていて興味深いと思います。

○映画で上品なティータイムに話されているイメージや、街の通りのカフェなどでおばちゃんが話しているイメージがある。フランス語は英語にはない、名詞に性別があり、アルファベットの読み方も全く違うところがフランス語らしさに繋がるのではないかと考える。

○日本語や英語にはない r の発音や、フランス人ならではの早口さがフランス語らしいと思う。LL の授業でフランス人が話すのをディクテーションしているが、とにかく早くて聞き取れない。また、フランス人が話すフランス語を聞くと日本語のように平坦ではない。

○フランス語と聞いてやはり1番に考えるのは発音である。また、フランスという国は美しい印象があるため「フランス語らしさ」はやはり美しいものだと考える。具体的に言うと、スラスラ読むことだったり発音を性格に読むことである

○日本橋でやっていたフランス展に有名なフランスのパン屋さんが来ていて、その人と会話をしようと思いついたフランス語で話してみたら、ものすごい早い発音で流れるような感じで話されたので焦りました

た。そこで思ったことは、発音が英語よりも早く、歌を歌うように発音するのがフランス語らしさだと思いました。

○英語よりも形式がしっかりしていて、型が決まっている。スペルと発音の関係や直接目的語や間接目的語の位置などもしっかり決められていてルールに則っている。これらがフランス語やフランスの上品であったり、オシャレなイメージになっていると思った。

○フランス語はおしゃれなイメージがある。日本語と比べて活用の種類などが多いが、日本のように同音異義語などは少ないように感じる。また、フランスの先生たちが話しているのを見たことがあるが、相手の言ったことに対してあいづちを分かりやすくとったり、目をしっかり見て話しており、相手にしっかり伝えるぞ、しっかり話を聞くぞという気持ちが伝わってくる。

○私にとって、フランス語らしさとは、性の区別がはっきりとしていて、それに伴い活用などが変わってくるということがフランス語っぽいと思う。また発音についても独特な口や舌の使い方をし、自分たちが話す日本語とは大きく異なるという点もフランス語らしさを感じるころだと思う。

○フランス語らしさは、エレガントで洗練されたイメージと深い文化的一体感によって特徴づけられます。美食、ファッション、アート、音楽など、幅広い文化に影響を与え、独自の響きやアクセントで優雅さと情熱を表現します。また、フランスの社会的慣習や言葉遣いもその特徴です。フランス語は名詞の性数一致など難しいですがそこがフランス語らしいと思います。

○僕にとってフランス語らしさとは、カッコいい言語です。なぜなら、僕がフランス語を始めたきっかけは、フランスのLupinというネットフリックスのオリジナルドラマで、その時使っていたフランス語がとてカッコよかったイメージがありました

○綴り字記号やリエゾン、アンシェヌマンは、フランス語らしい。日本に進出している有名ブランドや日本発祥のブランド(コム・デ・ギャルソンなど)がフランス語から由来しているため、オシャレである、というイメージがあるのでは無いかと思う。また、その中には必ずといっていいほど綴り字がある。テストになると、引っ掛け問題で仕方がないが😞

○高校で英語を専門に学んだが、フランス語を初めてやってみて言葉に性別があるところや、話すスピードが比較的早いところがフランス語らしさだと感じた。また、先生が授業内で言っていたフランス語は直線的な距離を重視しているというのを聞いてなるほどなと思い、これもまたフランス語らしさの一つであるなと思った。

○男性名詞、女性名詞の区別があること。鼻母音があること。エリジオンやリエゾンで単語同士をくっつけて読むこと。例外はあるが日本語や英語と違って形容詞が名詞よりも後にくること。数字の70や80などが足し算やかけ算になっていること

○発音良く、文法、完璧にフランス語を話したり書いたりすることだと思います。そして町並みとか、文化などを楽しんで、学んだり、自分の国と比べてみるとよりフランス語らしさを体感できると思う。先生みたいにフランスを理解して、胸を張ってフランス語を話せるようになりたいです。

○フランス語は僕は大学で初めて学んだ言語である。フランス語というのは最初のイメージとしてとてもオシャレであるということ、フランス語を学んでいくにつれて男性名詞女性名詞などがありとても難攻であるということそして英語と全然違うところなどがフランス語らしいところかと感じた。

○僕が考えるフランス語らしさは発音だと思います。フランス語の発音は英語などの発音とはまた違いaiでエと読んだりeauでオと読むなど規則性がある発音が多く、ローマ字読みがものすごく少ないなと思いました。それがフランス語らしさだと思いました。

○英語やポルトガル系の言語の色が濃いけれど、フランス語はなによりも子音と母音の組み合わせかたや発音のリズムが他の言語よりもやわらかく、流れるように感じられる。それは歌謡曲においてよりはっきりする。jの音が特にフランス語らしい。フランス語は音が歌あるいは詩にぴったりで、それがフランス語への先入観を招いている気もする。

○男性系女性系や語順などがしっかり決まって分けられていることなどが日本語より丁寧であってフランス語の文法を理解して知識を定着させていればわかりやすい言語であると思う。だがそうなるためにフランス語にはルールが多く形の変化も多いため英語と違ってそう簡単には身につけることができないけど最近英語は聞くだけならその辺の人でもできると思うけどフランス語をできる人は数少ないから

かっていいと思う。

○私は、女性名詞と男性名詞や動詞の活用や性数一致などだいぶ細かくて少しめんどくさいところが1番フランス語らしさだと思います。初めてフランス語を勉強し始めた時に単語に性別があることに驚いたので、1番印象に残っています。

○Rの発音をするときに鼻にかかったような音がする。それによって、生まれる英語や日本語にはない独特なリズムである。定冠詞や部分冠詞が付くつかないかで、大きく意味が異なってしまうのもフランス語らしさと言えるだろう。

○フランス語らしさといえば自分が印象に残るのは名詞に常に冠詞が付くことと名詞に性別がつくことであると思う。他の名詞に性別がある言語と比べて日本ではフランス語を目にする機会が多いので自分はいつもそれが気になっていた。

○フランス語らしさと言われるとあまりいい説明ができないのですが、発音は思ったよりも全く難しくなく、でもrと鼻母音の発音はいまだに指摘を受けるし発音の区別をしにくいと感じている。

○名詞の前に置く冠詞によってその名詞のイメージが変わるところ、形容詞は対義語がある場合と、ひとつの形容詞を否定することで真逆の意味になる場合がある(ex.cher/ce n'est pas cher)

○個人的には、発音が他の私が知っている言語よりも滑らかで繋がっているように聞こえる発音をすると思います。だからこそ、初心者の私達にとっては難しく聞こえるのではないかなと思いました。特にrの発音が、特徴的な発音をしますがそれが習得できれば一気にフランス語っぽい発音になるのではと思います。

○個人的にフランス語はほかの言語と比べて、アクセントや抑揚がすごく伝わる言語だと思います。なのでそれに比例して発音が聞き慣れなく、とても難しいと感じる時があります。特にRの発音が印象的で鼻にかかるような音を出すことにフランス語らしさを感じるようになりました。

○全3回講義を受けるまではフランス語は濁音が多く、発音がしづらいものだと思っていた。しかし、この講義を受けて濁音は関係がないと分かった。そこで私が考えるフランス語らしさとは、人称代名詞の位置が日本語に比べポイントになってくるのかなと思った。

○僕の考えるフランス語らしさは、早口っぽくボソボソ喋る感じがフランス語らしさだと考える。この質問を見た時、IPPON グランプリの設楽統の「フランス語っぽく悪口を言ってください」の回答が真っ先に頭に浮かんだ。

○フランス語はeu ouなど同じ感じに発音をするけど口の大きさや形、舌を使って発音したり似た発音が多く日本人にはない発音の仕方があるのがフランス語らしさなのでは無いかと思いました。また母音と母音に挟まれてるから濁った言い方をするというのもフランス語らしさだと思っていて主にフランス語らしいと感じるのは日本にはない発音だと思います。

○フランス語は日本語でいう京都弁なイメージ。語尾が、京都弁は「～どすー」と語尾を無理にはねあげないイメージがおしとやか、丁寧だという印象を持つのだと思いました。フランス語も merci や bonjour など語尾が丁寧に添えられているかのような発音するのでそこがフランス語らしさなのかなと思いました。

○私が考えている「フランス語」らしさとは、様々な条件下でひとつひとつの単語が変化していくことである。例えば、動詞の変化も主語だけが変化するよう要因なのではなく、その次の名詞が直接か間接なのかによるものでもきる。このように、フランス語は様々な規則性で成り立っていると考えられる。

○日本語の平仮名、カタカナで表せば同じような発音でも、舌の使い方や音の伸ばし方で変わってきたりoiでワ ouでウなど、ローマ字表記だと想像がつかないような発音を含んでいる。また、少し英語と似たような単語がある

○単語と単語があまり切れず、流れるように繋がって発音される。Rなどのアルファベットがあると、他のアルファベットより強めに聞こえる。接続詞や冠詞など、同じ単語が何度も発音される。つづりや意味は異なるが、似たような音が多く発音される。

○私の考えるフランス語らしさは、発音だと思う。私は日本語、英語、フランス語しか勉強したことがないので他の言語と比べたフランス語らしさは分からないが、半母音はフランス語にはあるが英語と日本語にはないということを改めてプリントで見たり、授業などで実際に発音したりして、発音がフラン

ス語らしさに大切だと思った。

○イントネーションやアクセント、文法が興味深いと感じた。特に、直説法等の独自のルールがあり、Rの発音など自分が今まで習ってきた言語の中では最も独特で特徴的だと感じた。そこからフランス語は、他言語と比べて独自の魅力があると感じた。

○私が考えるフランス語らしさは、まず名詞が男性名詞、女性名詞と別れていることです。これは日本語や英語にはないわけで、フランス語といえば名詞をしっかりと区別しているところだと思います。あと、動詞が人称によって活用を変えるところであると思います。英語であれば、like,likes ぐらいであるが、フランス語では、aime.aimes などさまざまな活用があるのがフランス語らしさであると思います。

○独特な発音があるところだと考える。理由は、普通に生きている中でなんの言語が話されているか判断のする時のポイントが鼻母音が使われているや R の独特な発音が聞こえてくるなどだからだ。なので、自分が考えるフランス語らしさとは独特な発音だと考える。

○r の発音をしっかりと知っていること。繋がる場所はちゃんと繋げて読んで、アクセントの違いもはっきりわかるように読むこと。日本語にはない、冠詞をちゃんと使い分けて、何が何を指しているのか、わかるように文を構成すること。

○私の考えるフランス語らしさは、女性らしい所と発音です。発音や響きがかわいらしいところから女性のイメージが強いです。日本語とは全く違い、発音が難しく発音が可愛いところがフランス語らしいなと思いました。また、発音しないhがあったりリエゾンすることから他の言語とは違う特徴が見られフランス語らしさが出ていると思いました。

○目的語を置く位置や、名詞に性別がついており、他の言語とは少し異なっていることがフランス語らしさだと考える。全部同じような文法だったら面白みがないし、言語を学ぶ意義が分からなくなってしまう。またフランス語独特の発音（例えばR）もフランス語らしさの1つではないか。

○Rの発音が特徴的で単語同士を繋げて発音するところや、定冠詞など。また、部分冠詞は英語にはなくてこれもフランス語らしいなと思った。また、最後の文字を発音しないところで読み方が難しいというところもフランス語らしいなと思った。

○流れるような発音で言葉の音の強弱は小さい。リエゾンやアンシェヌマンが起きるのでひとつの文がひとつながりになっているように感じる。また発音が全体的に柔らかく、鋭い音は少ない印象。そう言った発音のなめらかさがフランス語らしさだと考える。

○フランス語はとても対話的だと思う。会話をすることに長けている言語で、それは国民的性格が誰かと話すことを好んでいるからだと考える。フランスの芸術、ファッション、食などの文化もコミュニケーションをとる一つの手段で、そこにフランス語らしさもあるように感じる。

○個人的に抑揚だなと思います。LL や総合の授業で Amical や教科書のお手本音源を聞いてると疑問文じゃないところで語尾の抑揚が高く上がったり疑問文なのに抑揚が下がったりするのがよくあるなと思います。日本語は訛り以外定型文が多いから、フランス語のテンションに多く占拠された抑揚の柔軟さ、というか軽やかさ、柔らかい感じがするなと思います。

○私は、フランス語は美しい言語だと思う。発音も美しいが、個人的に文法の形が好き。まだ半年しかフランス語を学んでいないが、これまで沢山の文法のルールを教わってきた。英語より決まりがしっかりあって、決まった文法の形にこだわってるイメージがある。例外もあまり多いイメージがない。そこにフランス語の形の美しさを感じる。

○フランス語はとても文法を重視していると感じた。日本語は主語がなくても通じるが、主語が必須な上にその主語によって動詞などが変化したりする。フランス語学習者にとって大変だと感じる場面が多いが、文章全体を見た時に整理整頓されたような文章になるためすごく美しさがあると思う。

○日本語で言う「しゃしいしゅしえしよ」のように聞こえたり、一定のリズムで平坦に流れる感じかフランス語らしさだと思う。また、冠詞の種類が多かったりマストな事もフランス語らしさだと思う。活用しても発音しない音が多いことも印象に残っている。

○日本語のような曖昧な表現がなく、物事をあやふやに濁して伝えようとせず、話す側が聴く側に対してはっきりと伝えようとする言語だと思う。例えば、日本人は聴く側に話す側の思惑を汲み取ってもらおうとするような表現がたくさんあるが、フランス語にはない。

○アクサンテギュやアクサングラーヴが付いている、名詞に姓の区別がある、活用の多さ、発音の多さなど、フランス語学習を始めた頃の頃は複雑で難しい印象だったが、学習を進めていくうちに規則性が比較的高いと思った。複雑そうに見えて実は意外と規則的というのがフランス語らしさだと思う。

○私が思う「フランス語らしさ」は1つ目は優雅さや美しさです。フランス語の発音は、フランス語にしか出せない響きで非常に優雅で魅力的です。2つ目はファッションです。ファッションがお洒落で世界中に知られているフランスはとても魅力的です。

○上品さを失わずに厳格さを保っていることが自分にとってのフランス語らしさです。理由としてフランスの美術や音楽がそのような雰囲気醸し出しているようだと思うからです。またフランス語の文法のルールが厳しいと聞いたことがあるからです。すごく先入観に影響されていますが、以上が自分が考えるフランス語らしさです。

○私が考えるフランス語らしさは発音が多いことであると思う。フランス語は直接目的語、間接目的語、主語などによって発音が毎回変わる。なので、複雑な音ではあるが聞くと心地よい印象を与えるのはフランス語特有の特徴だであると思う。

○大多数の単語で語末の子音を読まないところや、日本語や英語には存在しないRの独特な発音、主語によって動詞が活用するところ、名詞に性別がありそれによって冠詞や修飾するために付け加える形容詞を変化させなければいけないところ、アクサンがつくこと

○語順の規則がしっかり決まっていたり、発音が変わる時も規則が関わっていたりするので洗練されたイメージがあります。また、エリジオンやアンシェヌマンによってより発音しやすく工夫がされていたり、人称が近さによって決まっていたり、人との関係を大切にしていると思いました。

○日本語よりもはっきり発音しないイメージで、英語よりも適当にボソボソと話していてもリズム感が合っていれば伝わる気がする。英語ドイツ語、イタリア語、よりも単語の語末が弱いので流れるイメージがある。rの音が特殊なので街で流れていてもフランス語だと特定しやすいと感じる。

○単語を美しく丁寧に発音することと文法要項が多いと感じる。主語、誰が何をしたか、など文を見て色々な文法事項が組み込まれているから。

○私の考えるフランス語らしさは、喉をうまく使って美しく発音し、出来るだけ速いスピードで話すことだと思います。私の思うフランス語は、速いスピードなのに強調する部分はしっかりと発音していて、分かりやすいイメージがあります。rの発音は唾を出すような喉の使い方ですがフランス語ネイティブは決して汚くなく、むしろ美しいとも思います。

○発音の美しさだと思う。滑らかに流れるような発音はフランス語を象徴するものだ。リエゾンやエリジオンなど、単語と単語を繋げて発音するところや、Rの吐息の混じった音が例に挙がる。発音の滑らかさが、他の言語にないフランス語らしさだと思う。

○他のドイツ語やイタリア語などの言語を知らないためはっきりとは言えないが、私が思うフランス語らしさとはまず冠詞を大事にしているところだと思う。部分冠詞か不定冠詞、定冠詞が違うだけで同じ文でも意味が違って来るからだ。また、名詞に性別や数の区別がありそれにより冠詞も名詞や動詞の形も変わるところもフランス語らしさだと思う。

○会話については流れるような発音と美しい響きの発音がフランス語らしいと感じる。また、文法については相手との距離感を考えて作られていたり、動作主が男が女によって、また名詞が男か女によって明確に区別されているものがフランスらしいと感じた。文法の代名詞が多いため、誰がどのような状況でどういったことをしたかの状態がわかりやすいのがまた一つの特徴だと思った。

○オペラや映画を見ると感じるのは、「これがフランス語！」というようなものは明確にないような気がします。しかし、未修者だった頃は「発音が綺麗で流暢な感じ」がフランス語という気がしていました。今では「喉の奥から吐き出す感じ」と「柔らかく明瞭な感じ」だと思っています。(履修している担当教員の撥音を聞いているイメージです)

○フランス語を半年ほど学んで知ったフランス語らしさというのは、発音しない子音や鼻母音、半母音などの他の言語では無くなったり、代用されたりしているものが未だに残っている事だと考えます。特に、イギリスでフランス語が話されていた頃には、その時代の英語に、フランス語と同じような読み方をしていた単語がありましたが、現在では、使いやすさや読みやすさからか、子音が変えられたり、読

まない単語が消されて行った歴史があると話を聞いたことがあります。そのため、この独特な発音にフランス語らしさというものをかんじました。

○日本語や英語としか比べられないけど、フランス語らしさは r の発音や、男性名詞・女性名詞・中性名詞など性別によって分けているところだと思う。また、冠詞や動詞の活用の難しさも私にとってはフランス語らしいところのひとつです。

○フランス語は喉を使う発音があったり、g と j の発音が違ったりと発音が独特だと思った。また、フランス語で話しているのを聞いてみると、何となく耳が心地よい感じがした。口に出して言いたくなる単語が英語より多いと感じた。

○私は大学に入ってからフランス語を学び始めて、春学期の初めの方は英語以上の冠詞や活用の多さ、言葉に性があることにとても違和感を覚えました。しかし、今では文法の問題でそれらを間違えると「自分フランス語やってるなあ〜」と思うようになり、やはりそういった規則がしっかりしている部分がフランス語らしいと思います。また、最近第3言語を選ぶためにいくつかの言語の発音の音声を聞いていて、フランス語には巻舌がないことに気付きました。スペイン語やイタリア語は巻舌のオンパレードだったのでそういったところでの違いもフランス語らしさなのかなと思いました。

○発音しないのに書く文字や記号が多くて、しゃべるよりも文字にすると一気に難易度が上がる。冠詞を少し間違えただけで犬好きが犬を食べるになってしまったりと、冠詞に気を配る必要性が日本語や英語との大きな違いだと考えた。

○r の発音が特徴的であること、je など濁る音、p などの半濁音の単語が多く、日本語にはない音が美しい。名詞の性別や規則的な性数一致があるように区別をはっきりさせたい言語。また、目的語の語順では会話に参加する人が重要視されるのも目の前の相手を大切にしている言語なのではないかと思った。

○自分が思うに、英語よりも会話が成立したときの達成感がフランス語の方が上だと感じている。フランス語は英語より複雑で、よりその複雑さに対して好奇心を覚えられる。英語世界が嫌いな私にとってフランス語をはじめとする「英語よりも複雑」な言語が楽しみの一つであるのだと思う。

○男性名詞と女性名詞に分かれていて、それに伴う動詞や形容詞の変形や発音の変化がある。発音も決まった形が多く、例外が少ない。定冠詞や不定冠詞の区別があり、時と場合によって変化する。否定文には ne を付けるだけでなく、pas を付けないと基本的には成立しないので手間がかかる。

○これぞフランス語というのはやはり R の発音な気がする。あとは今まで触れてきた日本語、英語と比べて、フランス語はリエゾンなどで単語同士でつながって、文全体が滑らかに聞こえる。また文法や発音に関しても、この2つの言語と比べて、大体は規則通りで例外が少ないと感じた。

○フランス語は、名詞に性別があり、今の時代には合わないが、女性らしさ、男性らしさが含まれていること、様々な発音がたくさんあり複雑であることがフランス語らしさを表しており、多様であるが曖昧でないところが「フランス語らしさ」だと思った。

○私が考えるフランス語らしさはフランス語には r を使うと濁ったり、oi をワと読んだり、eau をオと読んだりするなど英語には無い特殊な発音の仕方があるので、それらのところにフランス語らしさがあるなと感じました。

○フランス語らしさといえばエレガントなイメージがあります、これはおそらくフランスの昔からの芸術作品や高級感のある食文化やファッションなどがフランスの言語にも影響があると思います。そして élision も一つの特徴だと思います、これのおかげでフランス語がとても流暢に聞こえて、おしゃれな感じがします。

○文字の状態での情報量が多い言語だと思った。発音を鼻母音やアクセント記号で表していたり、意味の違いは冠詞や順番で表しているため、文字を見た時にかなり詳細に情報が伝わってきて、マスターすれば文字だけでも色々な事を伝えることができる言語。

○個人の意識が高い言語だと思う。主観的なフランス人のイメージとして、自分のアイデンティティをしっかりとっており、主張を恐れないということがある。講義で一人称、二人称を重要視するという説明があったが、このように個人に視点を置く気質が言語にも表れているのかなと思った。

○私が主にフランス語らしいと思うのは、文法と発音です。冠詞のニュアンスの違いや代名詞の扱い、

リエゾン、エリジオンなど発音を大事にしているところにフランス語らしさを感じました。フランス語の冠詞には部分冠詞という独特なものがあり、使い分けによって一つの名詞が何通りもの意味になるし、代名詞は人称や目的語の種類によって順番が決まっています。英語との語順の違いを見ても、文法において重視するところが独特だと思います。単語同士を繋げて発音して結びつきを強調するのもフランス語特有のもので、大きな特徴の一つだと思います。

○私が思うフランス語らしさとはrの発音だったり、gやhを(多くの場合は)読まないところだと思う。フランスへ留学していた時、rの発音が違い、何度も相手に聞き取られず、直されてばかりだった。rの発音は喉の奥を震えさせて発音しろと言われた。この喉の奥の使い方は日本語や英語にはないのでフランス語らしさであると思う。gやhは、ほとんどの場合は読まないが時々読むところがフランス語らしさであると思う。また、英語や日本語とは異なり、反母音が存在するところやよくリエゾンするところもフランス語らしさだ。私が思う、フランス語らしさとは、我々日本人が学んできた英語と日本語のどちらにもない読み方や発音の仕方だと思う。

○発音する時に、口からというよりも鼻から音が漏れるような感じがして、フランス語らしいなと思う。他にも、フランス語の発音の特徴として、流れるようなスピード感とリズム感があるように感じます。これらの特徴がフランス語からおしゃれで優雅な感じがする要因なのではないかと思っています。

○発音の仕方が英語とか自分が取ってる外国語より楽しくて、言葉の言い回しだったり日本語と違って面白い。けど接続法だったりいろんな文法があって難しい、やればやるほど面白くなっていく言語。でも冠詩の使い方がむずかしい。

○私、あなた、彼、もの、ことなどそれぞれを「個」として捉える言語だと思った。また、過去分詞の性数一致や清音と濁音のルールなどがきっぱりと決まっています。スタッカートに切れ切れではなく流れるような音とその中の芯の強さがフランス語はおしゃれである、というイメージを感じさせていると考えた。

○奥深さがフランス語らしさだと思える。フランス語は複雑な文法や不規則な動詞の形、発音など学習者を悩ませる点が多くある。しかし、その裏には一つ一つ意味があり、専念されているからこそ複雑になったと思えるため、奥深さがフランス語らしさだと思えた。

○フランス語の言葉らしさではないかもしれないが、会った人と挨拶をするときにビズをして“ça va?”と言ひ合い一言二言話をするまでがセットなのはフランス語らしいやりとりだと思う。また体感的に英語より語彙の数が多いように思う。人を褒めるときや愛称を付けるときに色々な言い方があるのが素敵だと思う。

■田中回(全3回)について感想を教えてください

○飽きさせない工夫がされていて楽しかったです

○もう一回やってほしいです

○レスポンスが多くてとても印象に残った。呼びかけられるような授業だったので頭に残りやすい。

○とてもたのしかったです!!

○非常に興味深かった。授業後にもらうプリントなども学習を行う上で、痒いところに手が届くようなものであったので、大変満足している。

○過去分詞の性数一致についてあやふやだったので整理できて良かったです。

○定冠詞、不定冠詞、部分冠詞について解説があって良かったです。もっと多くの例で見分けを付けられたらいいなと思いました。

○教科書とかだと先生というかたい形ではなくグループなどの形であったりこのようなやり方が自分には合う勉強法だと感じました。

○フランス語に対する、難しい、理解しにくいという考えが変わった。苦手である部分をわかりやすく噛み砕いて説明してくれるため、理解しやすく、フランス語に対し親しみやすさを感じた。文法の法則性やなぜそのようになるのかを、しっかり理解することで言語学習はやりやすいものになるのかなと感じた。

○こんなにレスポンス打ったのは初めてです。楽しかったです。特に最後の車の冠詞の話はとても興味深

い話でした。

○先生の話し方や、言葉の選び方がとても分かりやすく、とても勉強になりました。ありがとうございます。

○苦手意識のあった言語学ですが、改めて考え直すことで思っていたより複雑ではないことが分かってよかったです。実際に解いてみると分からないものがたくさんあるので、これからも頑張りたいと思えるようになりました。

○初めて、田中先生の授業を受けてずっと赤い服を着てたこととレスポんで活発的な授業をしていたため、とても印象に残った。先生が集めるレスポンは自分からの目線でもそれはどーなんだろうと思うことも多々ありとても興味深く話を聞いていました。とても面白い授業でした。

○役に立つプリントをいただけてよかったです。現代社会だけど、ほかの先生とは違く主にフランス語の学習をしてくださってありがたかったです。

○どれもこれも新鮮で今まで自分が考えなかったことについて触れていたためとても興味深かった。フランス語のことを言語としかみていなかったが違う側面を見出していたため、苦手意識があったフランス語が少し好きになった。説明も細かくてよく理解できた。

○どの授業も面白くて、来年はぜひ私の必修の授業の先生に。なってもらいたいです。

○他の授業と比べて全然眠くならず、参加型なので楽しく授業を受けられました。

○田中先生の授業は分かりやすいのはもちろん、興味を引くような授業の進め方をしてくれたので、記憶に残りやすいし、楽しく授業を受けることができました！ありがとうございました！

○Respon を上手く活用していてとても面白い授業だなと思った。生徒全員が参加して色々な意見を交換できるのが田中先生の授業の良いところだと思う。グループワークも有効活用できてとても楽しくフランス語について学ぶことができた。

○これまでの授業形態とは違ってレスポンを積極的に使ったり、グループワークで楽しく受けられてとても面白かったです。フランス語の文法などフランス語という言語の深くまでをしゃべって面白かったです。

○レスポンをこんなに活用している授業と初めて出会いました。楽しかったです。

○レスポンの授業は面白かった。身近なトピックから本題に持っていく過程が単純明快かつ勉強になるため、人を飽きさせず、惹き付けるのが上手いなあ、と尊敬している。私は教職を目指している一身であるため、参考にしていきたいと思った。

○今までの授業を批判するわけではないが、ずっと水曜の3限はお昼ご飯あとで眠い中つまらない授業を受けるという印象だったが田中先生の授業は本当に他の先生とは違って面白く、ためになることばかり学べてすごく楽しく授業に参加できた。3回と言わずずっと先生の授業を受けていたい気持ちもあります。

○今回は文法についての説明が多くとても勉強になった。特に、avoir の複合過去の時に、直接目的語が過去分詞よりも前にあったら性数を一致させなければならないことを知らなかったのでとてもためになった。

○とても印象に残ったよ

○レスポなどでこの講義を受けている人の意見を知れるというのはとてもいいと思いました。またグループワークを行うことで直接他の人の意見を聞けるのもいいと思った。

○ちょうどよく分かっていないところを授業で復習してくれたので分からないところが減った。

○視野が広がりました

○参加型の授業で楽しく受け学ぶことができました。

○この授業ではたくさんの人が集まって授業を受けるので、ほかの先生はみんなスクリーンに移して話す講義だったため、この人数でグループワークをする先生の授業はとても楽しかったです。

○レスポンを多用した授業を斬新で、先生のユーモアも相まって楽しかったです。

○興味ある話題なのでめっちゃ面白かった。

○いつもの授業よりも学びになることも楽しいこともたくさんありました。楽しかったです！

○フランス語を学ぶ中で当たり前だと考えていたことも一つ一つに深い理由、訳があってその源を知ることによりフランス語を学ぶ際にすんなりと受け入れて納得して学習できるようになった。言語を学ぶ

際の着眼点が増えたと感じる。(語順や発音の規則性など)

○今までの授業では先生が話しているのを聴くという受け身の授業が多かったのですが、この3回の授業ではグループワークをするなど自分で考えることが多く、本当の意味で授業に参加できたと思います。ありがとうございました。

○第2回、第3回と2回しか出れなかったがとても印象に残る授業となった。普段あまり深掘しないようなところに焦点を置いたり、当たり前の矛盾にツッコミをいれたり楽しく受けることができた。

○法学部ではグループワークはないので、新鮮でワクワクした授業だった。全3回の授業ありがとうございました。

○田中教授以外の回では眠くなるが多かったが、今回の3回ではそれが全くなかった

○文法や総合の授業の復習や説明の補いなどがあって分かりやすく理解が深まりました。またもっとフランス語について田中先生に教わりたいと感じました！楽しかったです。ありがとうございました。

○le とか lui など覚える人称代名詞が多くて、嫌だなと感じていましたが1.2人称とそれ以外の人を区別するためにあるということは、文中での行動が誰のものなのか分かりやすくなったと思います。そう思うと、英語よりは覚えれば少し簡単なのかなと思えました。

○ひとつひとつの授業がとても印象的かつ分かりやすいものでした。1回目は受けられませんでした。2回目はフランス語そのものについて、3回目はフランス語の文法についてとても詳しく説明してくれました。また、一方的な授業にならないように生徒たち自身が話し合う時間を設けることによって、授業の内容をより深く、自分自身に落とし込むことができました。

○高校の時に獨協大学を志望校に決めた時から田中教授のことは、教授が動かしている Twitter を見たりして知っていたのでとても楽しみにしていて、実際とてもためになりました。フランス語難しくて、挫けそうでしたが教授の噛み砕いた説明やグループワークで少し前向きになれました。ありがとうございました。ゼミも田中教授のゼミに入りたいと思いました。人気そうですが頑張ります。

○今までで一番印象に残った授業だった。面白かった。フランス語の疑問が少し解消されてよかった。質問を読んで答えてくれていて、嬉しかった。

○言語学と聞くと取っ付き難いイメージがあったが、全3回の授業を聞いて、自分が普段疑問に思っていたようなことが言語学であったので、今はとても身近なものを感じる。これから疑問に思ったことは、自分なりに答えを見つけて考えを深めていきたい。

○今まで、現代社会の授業を受けてきて、言語についてだけでなく色々な視点から物事を考えさせる授業は初めてで新鮮でした。特にフランス語の文法についての内容では、現在学んでいるところも教えてくださったのでありがたかったです。楽しい授業を、ありがとうございました

○他の授業に比べ、より楽しく学ぶ事ができました。その理由として、グループワークがたくさんあり、自分の考えを人に伝える事ができたり、他の人の意見を聞く事ができたりしてすごく楽しかったです。授業中に私たちの質問に対して深く答えてくださったのがすごく嬉しかったです。

○いつもの現代社会入門の授業より授業に参加できている感じがして楽しかった。今までで1番レスポンスを使った。

○一番最初の授業はフランス語のことじゃなくて、文化的な授業でしたが、最後は文法事項のことをやってくださって、幅広くフランス語を学べたのでよかったです。

○現代社会入門を受けてきて、一番印象に残りました。レスポンスを多用することで生徒に飽きさせない工夫をしていることや、生徒の質問にも答えていたり、とても親身だと思いました。3回とも全て参加させていただいたのですがとても楽しく学ぶことができました。

○レスポンス、グループワークが多かったので授業中眠くならず、積極的に授業に参加することが出来ました。どうもありがとうございました。

○毎回の授業が印象に残って面白かった。また、みんなが疑問に思ったことをわかりやすく教えてくれたからとても楽しかったし勉強になった。

○フランス語がピックアップされて紹介されていたが、今回の授業はフランス語の授業と言うよりは言語学の考え方というようなイメージだった。今まで言語学とはその土地の言葉を学ぶものという認識だったが、それはあくまで言葉を覚えているだけであり、言語に対する学問という領域ではなかったのだ

と思った。

○楽しかったです。

○全回ともほとんど筆記用具を使わず頭で考えることが多くとても楽しかったです。授業で受けたことを自分の中で消化するのが楽でした。

○この授業の他の先生よりも、授業に参加できる形態で楽しみながら学ぶことができました。何度も質問を取り上げて頂き嬉しかったです。ありがとうございました。

○レスポンスを使って進めるような授業を初めて受講した為とても新鮮でした。3回ともとても楽しかったです。

○参加型授業であることが現代社会入門の他の先生方と違いました。私がした質問や感想について返答して頂いたので疑問などが解消されました。

○フランス語についてもそのほかの言語についても今まで見たことのない視点から考えたことで、今までかたく難しく考えていた文法などをより簡潔に分かりやすく考え直すことができてとてもいい時間だった。

○レスポンスを多用したり、グループワークをしたり他の先生とは違い、楽しみながら授業を受けることができた。ただ楽しむだけでなく、田中先生の文法解説がかなりわかりやすかったためフランス語学習にとっても役立つ知識も得ることができた。

○様々なフランス語の文法の問題があり、細かいところまで解説していてとても興味深い授業でした。

○全ての現代社会の講義を受けてきた中で一番好きな授業タイプです。

○全3回の講義でフランス語の発音のルールに対する抵抗感が薄れた。英語の方が発音しない音があるのはとても驚いた。音声学に興味があるので、毎週の講義の内容はとても興味深くフランス語の音声学もっと深く学んでみたいと思った。

○レスポンスを用いたクイズ形式の授業でとても楽しく過ごすことができましたし、グループワークでの知らない人との様々な会話もとても刺激的だったのでとても有意義な時間でした。ありがとうございました。

○今までとは違った形の講義で面白かったです。大講義の授業はあまり自分で考える機会がないように感じますがこの授業ではレスポンスが多用されていたため自分で考えることをたくさんしたと思います。

○他の授業でただ説明を聞いて問題を解いていると眠くなってしまうことがあったが、田中先生の授業は「授業に参加する」ということが実感できて楽しかった。

○言語学は興味があったのでとても面白かったと言語学を学ぶのが好きでなんでこうなるのかまで考えてこなかったのがフランス語をより深く知れてよかった。

○今までの講義スタイルとはまた違った授業で、とても新鮮でした！ディスカッションやアンケートなど聞き手を飽きさせないやり方で、楽しく授業を受けられました。来年もし田中先生の授業があったら、是非取りたいです！

○楽しかったです。語順の話とてもためになりました。

○レスポンスやグループワークなどで自分で手を動かしたり考えたりして飽きずに面白い授業だった。また、文法の授業でやったことをもう一度確認できてよかった。

○とても楽しかったです。言語学について少し興味を持つことができました。どういう関係でこの文法になったのかや動作主が誰だからこういう語順になるというのがわかりやすい言葉で説明されていたので良かった。

○今まで受けたことのないような授業で非常に楽しかった。ただ楽しい、賑やかだ、と言うだけでなく、新たに知ったことが多く、勉強になった。レジュメもわかりやすく、読み直しても不明な点がなかったので、授業内容の復習にも役立った。授業とは全く関係ないのですが、先生著作のハンビロコウのフランス語ドリルがとてもわかりやすく、高校の頃から勉強のお供にしています。(媚を売ってるわけではないです、すみません)

○興味を引くような内容で、退屈にならずに過ごせた。言語学の面白さを少し知れたような気がする。

○授業後に毎回質問を募集して、次の授業にわかりやすく解決してくれて嬉しかったし、授業全体としてはフランス語についてだけでなく言語学についても触れることが出来たのがよかった。言語学について

て今回触れたという経験を次の履修登録や就職活動などに活かしたら良いと思う。

○授業のテンポが良く、聞いていて飽きない内容だった。

○ほかの先生とは違ってレスポンを多用した授業でとても新鮮で面白かったです。言語学と言われて今まではあまりしっかりとしたイメージが湧かなかったのですが、先生の授業を受けて少しでも理解することが出来たかなと思います。

○自ら考えて自分の知識の誤りに気づき、新たに情報をインプットしていくというスタイルが印象的でした。レスポンのアンケートの円形グラフによってどのくらいの人がどんな意見を持っているのか理解でき、自分の意見や考えが多数派なのか少数派なのか確認できたことも興味深かったです。文法はひたすら覚えるという感覚ですが、この3回ではアイとプットもしつつ学べたので新たな感覚で楽しく知識を増やすことができました。

○今までの入門とは全く違った授業方法で面白かった。グループワークで他人の意見を聞きながら話し合うことも楽しかった。

○他の授業では説明されなかった細かい法則や定義など、フランス語だけに限らない様々な新しい知識を得ることができた良い時間だったと思う。

○レスポンの多用や明るい雰囲気のお陰で、楽しい気持ちで授業を受けることができました。

○今までの授業と進め方や内容、先生の雰囲気が全く違って楽しかったです。授業で1度やって終わりだった文法やフランス語の規則について掘り下げていただきとても助かりました！

○服装が赤というところから印象的だなと思い、先生に興味を持ちました。私たちの疑問をはじめに結論出した後に説明していただけたことが分かりやすかったです。

○言語学は難しいイメージがあったが、話が聴きやすく、言語学も以前より身近に感じられたし、フランス語の勉強にもなった。

○良い復習ができたと感じます。また、フランス語を勉強していく中で、グループワークなどで楽しさが増えました。そして、こんなに授業中に respond を使用したのは初めてでした、先生と会話をしているような感じで良かったです。

○レスポンを多用する授業は初めてだったので、とても新鮮で楽しめました。また、そのレスポんで回答する問題も学校の質問というよりクイズ感覚で回答できるもので、いつもの固い思考が少しほぐれた状態で答えることが出来ました。グループワークもいつもの私語厳禁という状態のまさに逆で、自由に友人と相談出来たので普段は出ないような回答を出すことが出来ました。そういったクイズもただの遊びのように見えてフランス語の本質だったり考え方の根底にあるものを理解しやすくするためのもので、いつもの授業あってこそではあるものの新しく理解出来たことも多かった印象です。

○今までの講義ではグループワークを行うことがなかったので、活気的な授業が面白かった。言語学というと辞書的な固いイメージがあったけれど、今回の講義を通して色々捉え方が変わったように感じる。また、個人的に文法の説明がとてもわかりやすくて良かった。

○ただ話を聞くだけでなく、レスポンを活用したりグループワークをしたりする、眠くならない面白い講義でした。文法というテーマも興味のあるものだったので、これまでの現社入門の講義の中で一番印象に残りました。あと、最後の講義で、文法の授業では「複合過去において、助動詞に être を使う時の過去分詞は主語に性数一致する」とだけ教わったので、助動詞 avoir にもそういったルールがあることに驚きました。

○2回目からグループワークをしつつ授業を受けたので、いつもの授業とは違い印象に残り、頭に授業内容がよく定着したと思う。3回の授業で最もタメになったのは第3回目にやった肯定命令文以外の語順と肯定命令文の語順だ。今までカンで解いていたが、1/2 3直3間を学びそれを使うことで実力で解けるようになったからだ。先生の話は面白く、真面目にやる時と面白くする時で緩急があり、とても楽しく集中してフランス語を勉強できた。3回の授業ありがとうございました。

○tu と vous の使い分けの決め手は、丁寧さによるものではなく、話の対象と自分との心の距離を表すということを知り、今後、tu と vous を使い分ける際には気をつけようと思いました。

○今までの現代社会入門の授業と形式が変わっていて新鮮で時間があっという間に過ぎる3回だった。今までなんとなくわかっていた文法事項をちゃんと理解する事ができてよかったし、グループワークを

通してペアと考えを共有して新しい考え方もできて本当に楽しい全3回でした。

○respon を今まで出席確認でしか使っていなかったのに、こんなにアンケートやクイズなどの使い道があることに驚いた。知りたかった言語的な疑問やもやっとしていたところがこんなにクリアになると思わなかったのに、田中先生回をもっと増やして欲しいと思った、来年以降田中先生の講義があれば選択したいと思った。授業用のワークプリントと講義後に配布されるレジュメの2種類のプリントがあることが珍しい形式で、さらに自分の理解度を深められて良かったと感じた。田中先生の個人的なイメージカラーがピンクだった(ハシビロコウワークといちごミルクの影響)ののだが、この3回で赤になった。

○フランス語を論理的に学ぶことができたため、執着しやすいと感じた。また生徒の質問に答えてくださっていてありがたかった。

○なんとなく疑問に思っていた冠詞によるニュアンスの違いについてグループワークで話しあいながら答えを知ることができたことが一番印象に残っています。外国語を勉強すると理解するために母国語による対応に頼りがちになりますが別の言語を勉強している以上別の概念が当たり前存在するわけなので、自分の言葉で改めて説明できるくらいまで細かいニュアンスをきちんと理解したいと思いました。